

第1回さっぽろ医療計画評価委員会会議における主な意見等

1 委員の出欠状況

9人中6人出席（3名欠席）

2 委員長、副委員長の決定

委員長については今委員、副委員長については荒木委員が就任

3 主な意見

(1) さっぽろ医療計画評価委員会について

- 質疑・意見なし

(2) さっぽろ医療計画2018の概要について

- 医療ポータルサイトの構築についてどのようなものを立ち上げる予定なのか。
→市のホームページにさまざまな情報を掲載しているが、市民が医療情報をわかりやすく得ることができるよう入口を整理したい。
- 医療ポータルサイトについては、医師会、歯科医師会、薬剤師会のホームページにリンクさせるなどを検討してはどうか。
→リンクさせていただきたいと考えている。

(3) さっぽろ医療計画の進捗状況について

- #7119 と産婦人科救急情報オペレート事業のすみ分けを教えてください。
産婦人科救急情報オペレート事業の相談件数もかなり増えてきているが、#7119で対応しきれないものが産婦人科救急情報オペレート事業にまわってきている可能性があるのではないかと。今後もこの2つの事業は併存し続けるのか。
→#7119は看護師が対応しており、産婦人科救急情報オペレート事業は、助産師が対応している。稀に#7119の方に婦人科系の相談が入ったり、産婦人科救急情報オペレート事業に婦人科系ではない相談が入ることがあり、転送するということがある。今後も2つの事業で継続予定。
- 在宅医療に関する講習会等の検証については、どのように評価しているのか。
→講習会の回数や参加人数での評価ではなく、さっぽろ医療計画で設定した指標で評価している。
- ACP（人生会議）については、医師会だけでなく、札幌市主体で普及していくことも必要と考えるが、今後、何か計画等はあるか。
→今後、検討する。
- 資料3-2の在宅医療の成果指標については、訪問診療を提供する医療機関の割合と

なっているが診療所数と両方の傾向をみていく必要があるのではないか。

●資料 3-2 の成果指標「毎年健康診断を受ける市民の割合」「かかりつけ医を決めている市民の割合」の目標値は他の政令指定都市のデータ等に準じた数字なのか。

→ 市民意識調査の結果であり、札幌市独自のデータ。

●健診の受診率などは、成果目標とは別で政令指定都市と比較的できるデータが他にあった方が市民にはわかりやすい。

→ 今後、検討する。

(4) さっぽろ医療計画の中間評価方法及び今後のスケジュール(案)について

●質疑・意見なし

4 その他

COLM 札幌患者塾で作成している手帳について紹介